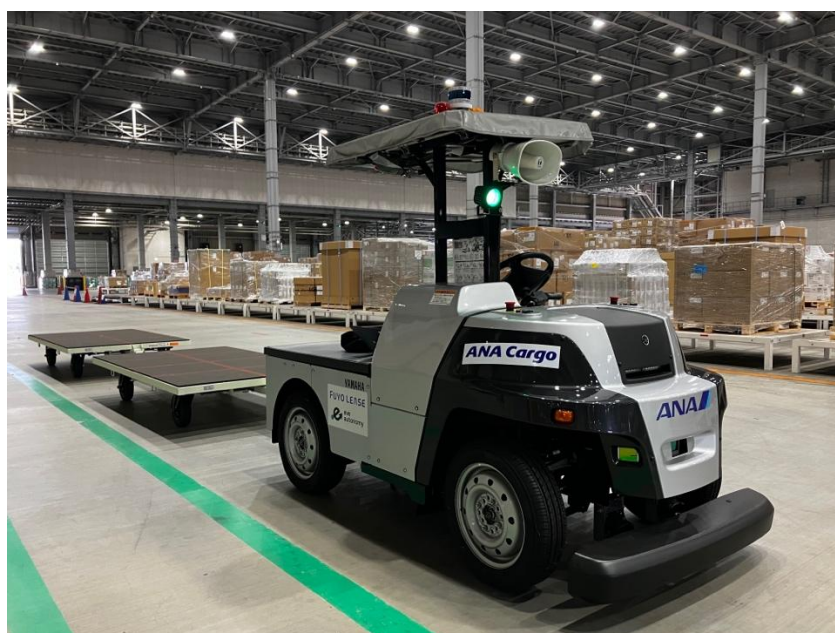


2026 年 2 月 19 日

全日本空輸株式会社
株式会社 ANA Cargo
芙蓉総合リース株式会社
株式会社 eve autonomy

国内初、成田国際空港貨物上屋間における自動運転レベル 4 の 自動搬送サービスを実用化

～ サブスクリプション型自動搬送サービス「eve auto ReFine」を導入 ～



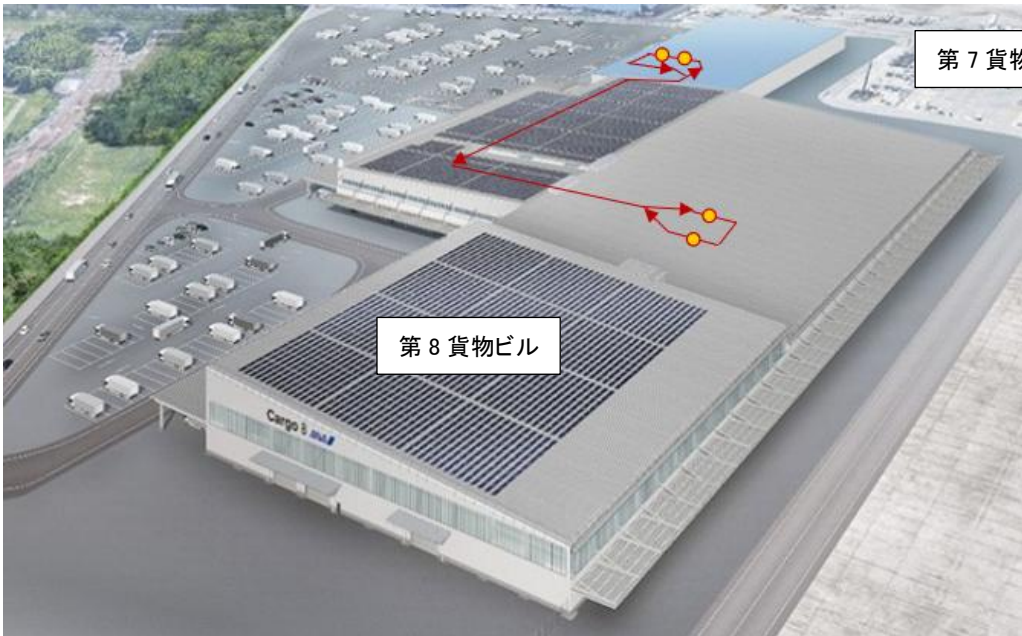
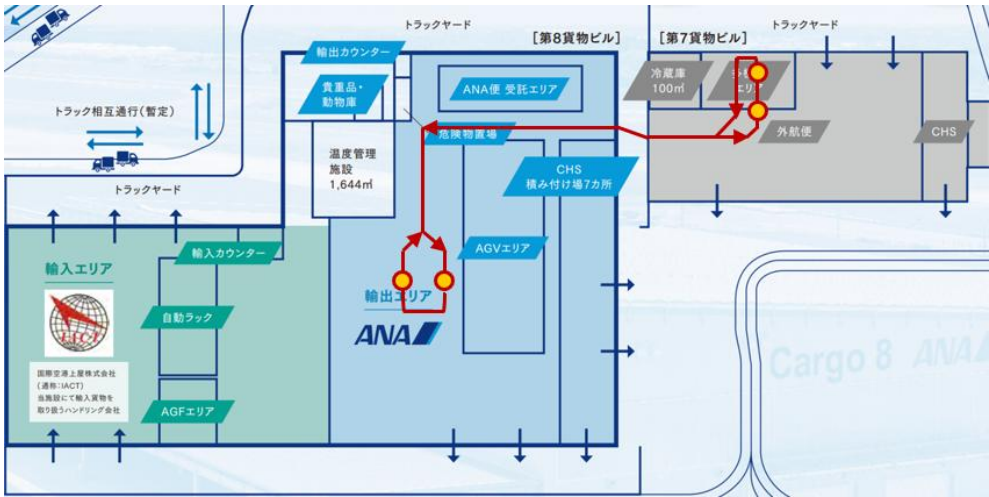
株式会社 ANA Cargo(東京都港区、代表取締役社長 脇谷謙一、以下「ANA Cargo」)は、芙蓉総合リース株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」)と株式会社 eve autonomy(静岡県磐田市、代表取締役 CEO 星野亮介、以下「eve autonomy」)が共同で提供する自動運転レベル 4※1の自動搬送サービス「eve auto ReFine」(以下、「本サービス」)の実運用を、2026 年 2 月 19 日より成田空港にて開始いたしました。ANA 最大規模の貨物上屋「ANA Cargo Base+」内第 7 貨物ビル・第 8 貨物ビル間にて自動搬送を導入します。国内空港のエアラインの貨物上屋において、自動運転レベル 4 の貨物自動搬送が導入されるのは国内初となります。

「eve auto ReFine」を活用し、貨物上屋間のフォークリフトによる貨物搬送業務を自動化することで、業務の省人化を実現します。2025 年 8 月に実施した 1 か月間の実証実験において、1 時間あたり最大 24 スキッド※2分(≒4,800kg)の搬送が可能であり、1 日 2 時間程度の作業量の省人効果があることを確認できました。成田空港への 1 台の導入をはじめとし、今後は羽田空港への展開も視野に入れつつ、需要に応じた台数の増車も検討してまいります。

※1: 特定条件下における完全自動運転。特定条件下においてシステムが全ての運転タスクを実施

※2: 貨物を輸送・保管するためのパレットの一種(下駄状の荷役台)

●自動搬送の概要

場所	成田空港
搬送ルート	・(片道約 300m)第 8 貨物ビルの輸入貨物解体エリアから、第 7 貨物ビルの国際宅配便引き渡しエリアまでの往復ルートを走行いたします。(片道約 300m) ・搬送時間は搭降載を含めて往復約 10 分、1 時間あたり最大 24 スキッドの搬送が可能です。  
車両	ヤマハ発動機製 eve auto「FG-01」
最大速度	自動運転時 10km/h、手動運転時 19km/h
最大牽引重量	1,500kg(うち、車両への積載可能重量 300kg)
自動運転機能	自動運転レベル 4(自律移動、交差点横断・右左折、障害物検出による一時停止)
安全機能	レーザーセンサーによる障害物検出と停止、バンパーセンサー、緊急停止スイッチ

●eve auto ReFine の概要



ANA グループでは、これまでも空港業務の持続的な発展に向け、自動運転トローイングトラクターの導入など、業務の省人化や効率化を行ってまいりました。ANA、そして ANA Cargo は、本サービスの活用や自動搬送車 (AGV) の導入などを通じ、スマートな空港貨物上屋オペレーションを実現することで更なる品質向上を図り、航空物流に新しい価値を創造し続けてまいります。

また、芙蓉リースと eve autonomy は、今後も航空貨物業界における更なる省人化、効率化を目指し、本サービスの空港制限区域※3 内での活用も見据え、サービスレベルの向上に向けて取り組むとともに、物流業界全体の課題でもある人手不足の解消に向け、業務の省人化や生産性向上に資する取組を推進してまいります。

※3: 航空機の安全な運航と空港保安のため、立ち入りが厳しく制限されたエリアのこと。今回、本サービスを導入した第7貨物ビルおよび第8貨物ビルは制限区域外の施設。

◆株式会社 ANA Cargo について

株式会社 ANA Cargo は、ANA グループの貨物郵便事業の戦略立案・商品開発から営業・オペレーションまで一手に担う、貨物事業の中核会社です。ANA グループは、貨物機と旅客機の両方を活用したコンビネーション・キャリアとして、安定した輸送サービスを実現しています。また、空港業務の持続的な発展に向け、成田国際空港において ANA 最大規模の貨物上屋「ANA Cargo Base+」に自動搬送車 (AGV) を導入するなど、業務の省人化や効率化に積極的に取り組んでいます。

◆芙蓉リースグループについて

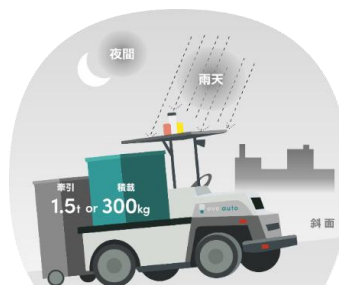
芙蓉リースグループは、2022 年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV(Creating Shared Value: 共有価値の創造)の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとして持続的な成長を目指しております。

また、「モビリティ/ロジスティクス」を経営資源を集中投下する成長ドライバーのひとつに位置付け、車両領域と物流領域を中心に独自の技術やノウハウを持つパートナーとの連携によるワンストップ型ソリューションを国内外で展開することにより、ビジネス領域の拡大と新たな価値創造に貢献してまいります。

◆株式会社 eve autonomy(イヴ オートノミー)について

工場や物流施設向けに、主に屋外における事前の設備工事を必要とせずに自動搬送システムの導入を実現するソリューション「eve auto®」を提供しております。屋外環境においては、段差や坂道などの路面環境に加え、雨や日照の天候条件など、屋内より厳しい環境での運用が求められます。

eve auto®は、高い信頼性により全国で活用されている EV カートと、一般公道においても活用される最先端の自動運転技術を活用し、雨天や夜間でも工場等の敷地内屋外環境で自動運転レベル 4 での無人搬送運用を実現しているため、24 時間稼働が求められる施設での運用も可能です。現在、全国約 60 拠点・約 100 台が稼働しています。



自動運転 EV を活用した屋外対応の自動搬送ソリューション「eve auto®」

以上

本件に関するお問合せ先

株式会社 ANA Cargo

総務人事部総務課

Email: ml_notice_pr@anacargo.jp URL: <https://www.anacargo.jp/>

芙蓉総合リース株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室 (担当)渡邊

TEL: 03(5275)8891 URL: <https://www.fgl.co.jp/>

株式会社 eve autonomy

セールス&マーケティング部 マーケティンググループ

TEL: 0538(40)9170 Mail: mk@eveautonomy.com

URL: <https://eveautonomy.com/>